課題の3 | ネギ苗の亜リン酸肥料施用調査(継続)

ネギの栽培において、定植前の苗の根に亜リン酸肥料を吸収させることにより初期生育 を促進する効果が報告されている。

初期生育が良くなることは健全な生育や収量の向上につながることから、亜リン酸肥料を施用した定植後の生育を調査し、今後の栽培普及の資料とする。

1 調査内容

- (1) 栽培環境 露地ほ場
- (2) 供試品種 ホワイトソード (タキイ種苗)
- (3)調査方法

定植前に、亜リン酸肥料『サンピプラス(OAT アグリオ)』1500 倍液を底面かん水し、根から吸収させた苗を定植した調査区と、無施用の苗を定植した対照区について生育状況を調査

(4) 耕種概要

①播 種 日:4月1日 264 穴チェーンペーパーポット・1 穴 2 粒播き

②定 植 日:5月26日

③栽植様式: 畝幅 100cm 株間 2.5cm 栽植本数 40,000 本/10a

④施 肥量

×	名	肥料名(N-P-K%)	施肥量(成分量 kg/10a)		
			窒素 N	リン酸 P	加里K
		CDU たまご化成 S555 (15-15-15)	4.2	4.2	4.2
共	通	燐硝安加里 S646 追肥専用(16-4-16)	16.0	4.0	16.0
		計	20.2	8.2	20.2

※酸度矯正のため、粒状苦土石灰 M-10 を各区に 125kg/10a ずつ散布した。

⑤収 穫 日:11月4日

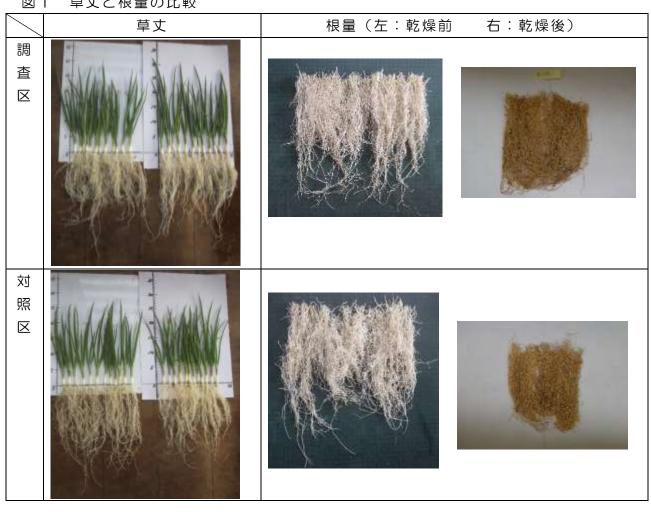
2 調査結果

各区ともそれぞれ 24 株について、定植 1ヶ月後の根重を含む生育状況を測定した 結果は、表1のとおりである。茎径は対照区の方がやや太くなったが、それ以外の草 丈、根長、全重、根重、乾燥根重については、亜リン酸肥料を施用した調査区が良か った。

表1 定植1ヶ月後の生育状況(24株平均)

区名	草丈	根長	茎径	全重	根重	乾燥根重
	(cm)	(cm)	(mm)	(g)	(g)	(g)
調査区	27.2	29.7	9.04	8.4	4.3	0.25
対照区	25.3	27.3	9.15	7.8	2.6	0.21

図 1 草丈と根量の比較



3 まとめ

定植前に亜リン酸肥料を施用した調査区では、昨年度と同様に、定植 1 ヶ月後における根量や根重が対照区より大きく、初期生育を向上させる効果があることが示された。

2年連続して行った結果として、亜リン酸肥料を定植時に底面かん水することで、 初期生育が良好になることが示されたため、本調査はこれで終了とする。

〈R1年度結果 10株平均〉

区名	草丈	根長	茎径	全重	根重	乾燥根重
	(cm)	(cm)	(mm)	(g)	(g)	(g)
調査区	36.6	20.4	7.6	13.2	2.4	0.44
対照区	37.0	20.4	7.2	10.1	2.0	0.38